

## 「広島 Peace Forum」に参加しました！

国際科の2名（2-6橋本彩華、2-7峰董）で8月6日（日）に、広島女学院中学高等学校で行われた広島 Peace Forumに参加してきました。フォーラムの冒頭で、CTBTOのLassina Zerbo 事務局長からオープニングスピーチがあり、とても感銘を受けました。このフォーラムでは、われわれ市民に何ができるかについて考えるため、市民社会や日常生活において非常に大きな役割を担うNGO団体についてまとめ、ポスターセッションを行いました。私たちは、それぞれ「ピースボート」と「アイキャン」というNGO団体についてまとめ、発表しました。参加した高校はいずれもSGH指定校で生徒は真剣な表情でメモを取りながら発表を聞き、積極的に質問をしていました。NGOについての理解を深めようと努めている姿に感銘を受けました。また、話し手も聞き手を意識した発表をしており、本当に学びの多いフォーラムとなりました。この経験を今後のSGHの活動に活かしていきたいと思います。（2-7 峰董）

今回のポスターセッションでは、発表後の先生方や生徒たちからの質問に私たちが答えられなかったところがあり、資料の調査不足が今後の課題となりました。その後、ポスターセッションの投票で勝ち残った「The ATOM Project」というNGO団体について話し合いました。この団体では、CTBTへの加盟国を増やし、今もなお放射能の影響に苦しむ奇形児の原因となった核兵器を廃絶するために署名を行っていますが、日本では5年で39人からしか署名が集まりませんでした。この問題を解決するために、2020年までに知名度を上げ、その後SNSやホームページなどで署名の機会を設けるなどといった詳しい活動方針まで話し合うことができました。私は今までNGOをどこか他人事のように感じていた部分もありましたが、今回参加することによって、自分も世界の市民の一人なのだという実感と、自分たちが世界平和を実行するのだという決意ができました。また、実際に平和活動を行っている高校生がいたり、ハワイの高校生が学校で行っている平和教育の発表も聞いたことで、全世界で共通に平和教育が行われていることを知り、私も大いに刺激を受けることができました。

（2-6 橋本彩華）



## 2-7 溝口祥帆が高校生平和大使としてスイスの国連軍縮会議に行ってきました！

私は、8月20日～25日の日程で、高校生平和大使として全国22人の仲間とともに、スイスを訪問してきました。国連や様々なNGO団体、現地の方々そして高校生との交流を通してたくさんのことを学ぶことができました。国連軍縮部では、軍縮会議を傍聴した後、カスペルセン事務所長の前で、私たちから平和を訴えるスピーチを行い、私たちが集めた署名を手渡しました。カスペルセン所長は、「平和を推進していく過程で最も難しいことは、様々な違いを持った国々と信頼関係を築き、目標を共有することだ」とおっしゃっていました。私も平和活動を続けていく中でたくさんの方と出会いますが、人それぞれの意見を受け入れながら、ひとつの「平和」という目標に共に向かっていくことが大切なのだと学びました。

今回の訪問で出会った方々は、国も言語も異なりましたが、核兵器廃絶と平和を願う気持ちは共通していました。現在、世界では核をめぐる緊張状態が続いていますが、それを解決しようと努力している方々が世界中にいることを、身をもって感じました。これからは、微力ながら私もその一人として、自分が学んだことをより多くの方に伝え、同世代のみなさんと平和をつくっていくために活動を続けていきたいと思っています。



